各国の稲作開発計画の策定と連携強化に向けて

JICAは、サブサハラ・アフリカにおけるコメ生産の倍増を目指すCARDイニシアティブの下、世界銀行、アフリカ開発銀行、国際稲研究所(IRRI)等と連携しながら、域内23カ国の稲作開発戦略(NRDS)の作成支援や、各ドナー間の事業間連携の強化を図っています。

新しい形の連携事業も

アフリカ緑の革命のための同盟(AGRA)のナイロビ本部に設けられたCARD事務局に、JICAは専門家を2人派遣しています。JICAは、稲作開発の実態把握と体系的な開発戦略の策定、国内ステークホルダーの参加促進等を支援するCARD事務局の活動に参加しつつ、生産基盤整備(灌漑開発、圃場整備、灌漑技術者育成など)、稲作技術の普及、ポス

トハーベスト、マーケティングなどを支援しています。また、モザンビークでのベトナムとの連携事業、国際稲研究所(IRRI)におけるアフリカの研究者の研修プログラム開設など、新しい取り組みを展開しています。

現在CARDイニシアティブは、①各国の農業分野での投資計画(アフリカ農業総合開発戦略*)とNRDSにおける策定支援、②民間企業の稲作開発への投資促進、③アジア諸国をはじめとする多様な支援国・機関の参画に焦点を置き、各国における事業の連携を強化し、

域内の共通課題に関して議論の場を提供しています。

2011年11月にはウガンダで第4回本会合が予定されており、イニシアティブ発足後3年間の成果について議論がなされます。



2010年5月にタンザニア・アルーシャで開催した第3回CARD本会合

※ アフリカ農業総合開発戦略(CAADP)は、各国予算の10%以上を農業部門に振り向けるべきとしている。